

栃木県がん教育総合支援事業（文部科学省委託事業）

栃木県がん教育ガイドライン



栃木県教育委員会

はじめに

近年、都市化、少子高齢化、情報化、国際化などによる社会環境や生活環境の急激な変化は、国民の心身の健康にも大きな影響を与えており、ストレスによる心身の不調などのメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、感染症など、様々な課題が顕在化しています。その中でも、生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測されるがんをめぐる状況を踏まえると、学校において、がん教育を推進することは、健康教育の充実を図る上で大変有意義なことです。

栃木県では、栃木県がん対策推進条例（平成30年4月1日施行）を制定し、県民ががんに関する正しい知識及びがん患者等に関する理解を深めることができるよう、市町村、拠点病院、医療関係団体、患者団体等と連携し、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進を図るために必要な施策を講ずることを示しました。

それを受け、栃木県教育委員会では、平成30年度から文部科学省の委託事業である「がん教育総合支援事業」を受託し、栃木県がん教育推進連絡協議会による本県のがん教育推進に関する検討、モデル校における授業実践や教職員等への研修会の開催、普及啓発のリーフレットやがん教育実践事例を各学校へ配布するなど、がん教育の推進を図ってきました。

本年度、がん教育総合支援事業の一環として本書を作成しましたので、各学校におかれましては、本書を活用し、組織的・計画的にがん教育を進められるよう期待しております。

最後に、本書の作成に当たり、御指導・御協力を賜りました栃木県がん教育推進連絡協議会委員及び各モデル校関係者の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

令和3年2月
栃木県教育委員会

も く じ

I 学校におけるがん教育	2
1 がん教育とは	
2 がん教育を実施する上での留意事項	
① 学校教育活動全体での推進	
② 発達の段階を踏まえた指導	
③ がん教育で配慮が必要な事項	
④ 外部講師との連携	
II がん教育展開例	16
III がん教育の成果	29
IV 指導参考資料・教材	38
1 文部科学省 「がん教育推進のための教材」	
2 がん教育推進のための教材 指導参考資料	
作成協力等	69
引用及び参考文献	
栃木県がん教育総合支援事業モデル校	
栃木県がん教育推進連絡協議会委員	

I 学校におけるがん教育

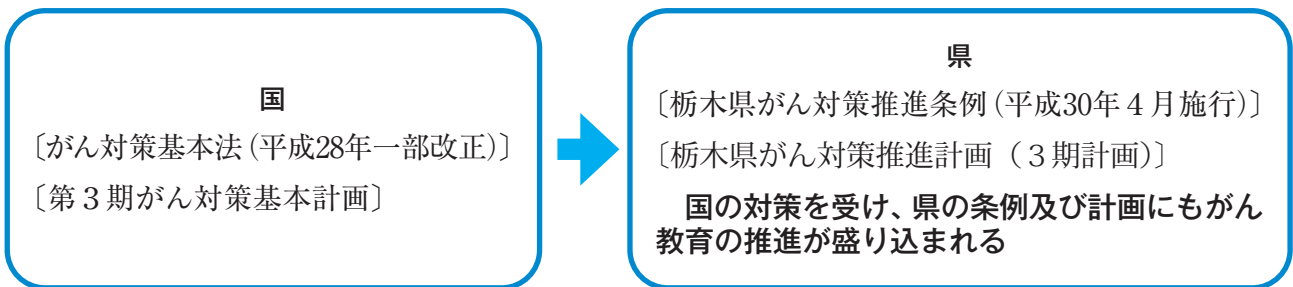
1 がん教育とは

近年、疾病構造の変化や高齢社会など、児童生徒を取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化してきており、健康教育もそれに対応したものであることが求められている。特に、日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であると指摘されている。学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められている。

そのような状況等を踏まえ、国では、平成28年12月に一部改正されたがん対策基本法において、「がんに関する教育の推進」を新たに定め、第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月閣議決定）では、「がん教育・がんに関する知識の普及啓発」を示した。

また、文部科学省では、平成29年3月に告示された新中学校学習指導要領及び平成30年3月に告示された新高等学校学習指導要領の保健体育科において、新たにがんについても取り扱うことを明記し、学校における健康教育の一環として、全国的にがん教育が実施されることとなった。

国と県のがん対策（詳細については次ページ参照）



がん教育の定義

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

がん教育の目標

(1) がんについて正しく理解することができるようにする

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

(2) 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

がんについて学ぶことや、がんに向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

国の対策

がん対策基本法（平成28年12月一部改正）

〔がんに関する教育の推進〕

第23条 国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月閣議決定）

〔がん教育・がんに関する知識の普及啓発〕

健康については、子どもの頃から教育を受けることが重要であり、子どもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。これらをより一層効果的なものとするため、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、子どもに、がんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要である。

県の対策

栃木県がん対策推進条例（平成30年4月1日施行）

第19条 県は、県民ががんに関する正しい知識及びがん患者等に関する理解を深めることができるよう、市町村、拠点病院、医療関係団体、患者団体等と連携し、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進を図るために必要な施策を講ずるものとする。

栃木県がん対策推進計画（3期計画）（平成30年度～令和5年度）

○個別目標

学校等におけるがん教育や普及啓発を通じて、より多くの県民ががんを正しく理解し、がん患者等の置かれている状況等に関する理解を深める。

○目標（目標値）

項目	2人に1人ががん罹患することを知っている県民の割合	全がんの5年相対生存率が50%を超えていることを知っている県民の割合
計画策定時 H28(2016)年度	26.9%	22.6%
直近値 R2(2020)年度	41.1%	26.5%
目標値 R5(2023)年度	50%以上	
目標値設定の 考え方	おおむね倍増を目指す	

基準：「栃木県政世論調査」

2 がん教育を実施する上での留意事項

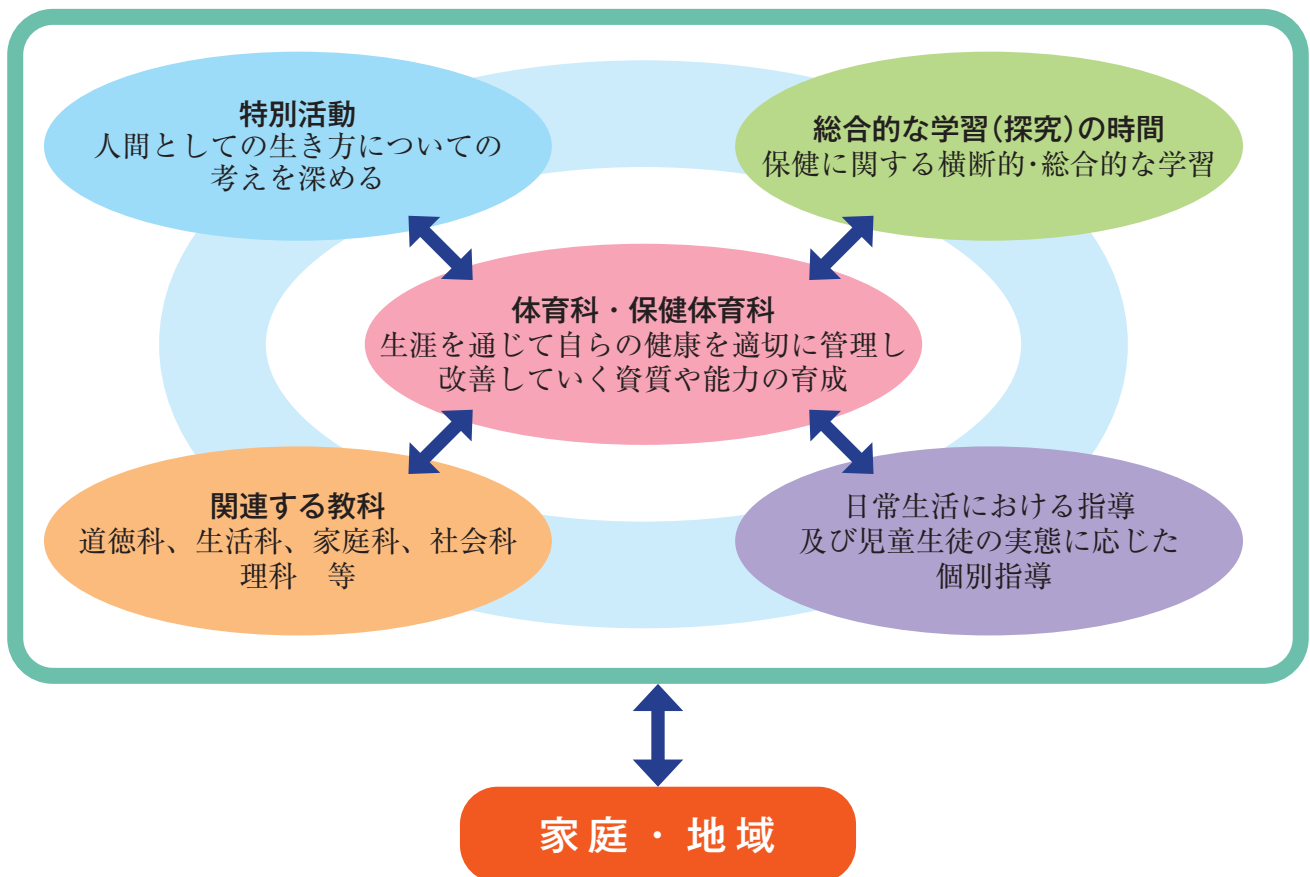
① 学校教育活動全体での推進

がん教育の実施に当たっては、がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則第1-2-(3)を踏まえ、体育科・保健体育科を中心に、学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。

【中学校学習指導要領 総則（抜粋）】

第1-2-(3) 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

【学校教育活動全体で取り組むがん教育のイメージ】



【参考 学校におけるがん教育取組事例】

保健の学習

○体育科・保健体育科による保健の授業



特別活動

○外部講師によるがんに関する講演会の実施（医師やがん経験者等）



○学校祭におけるがんに関する展示・クイズコーナーの設置やがんに関連付けた取組

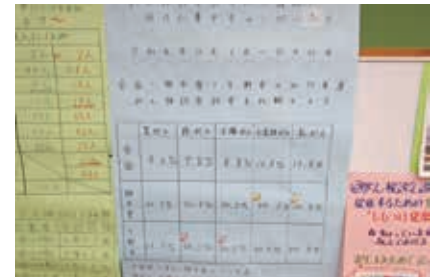
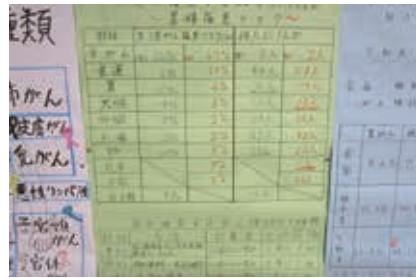
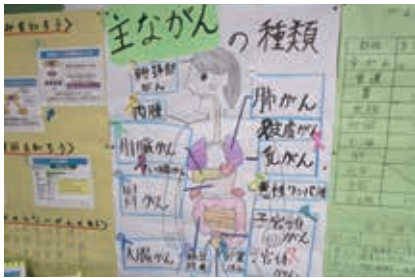


○保健委員会におけるがん教育に関する協議や生徒集会における保健委員会生徒による取組発表



総合的な学習（探究）の時間

○健康などの現代的な諸課題として、がんを取り扱った調べ学習

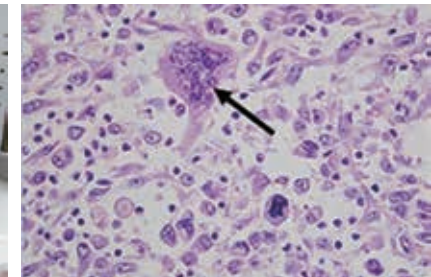


関連する教科

【道徳科】がんを題材とした生命尊重の授業



【理科】たばこ等と関連させた発芽実験や細胞の学習におけるがん細胞の取扱い



【家庭科】がん予防と食品を関連付けた学習



【社会科】がんと偉人を関連付けた学習や保健所の役割等の学習におけるがん検診の取扱い



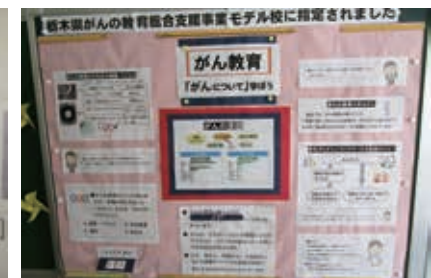
胃がん検診 ※2	選択	胃部×線検査 胃部内視鏡検査
大腸がん検診		便潜血反応検査(検便)
肺がん検診		胸部×線検査 胸部×線検査 喀痰検査(細胞診) ※3
乳がん検診 ※4		マンモグラフィ検査 乳房超音波検査併用
子宮がん検診 (経膣の方は経膣検診が優先となります。)		視触診 頸部細胞診
前立腺がん検診		頸部・体部細胞診 ※5 血液検査

その他の関連した取組事例

○がんに関する図書コーナーの設置



○校内掲示による啓発



○保健だよりによる保護者への周知や啓発



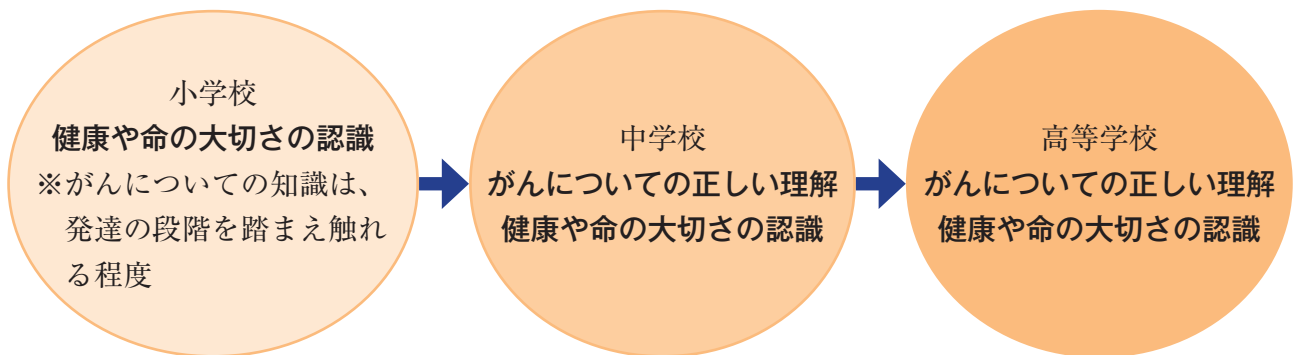
○給食だよりによる啓発やがん予防献立の実践



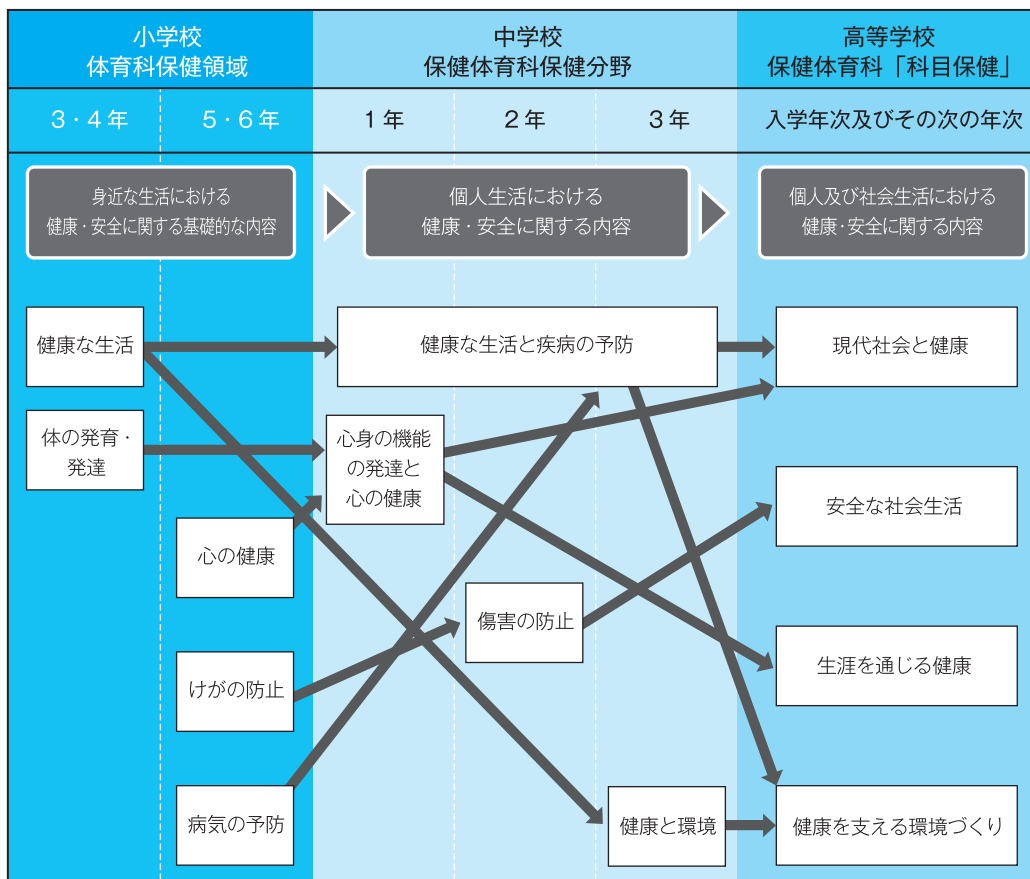
② 発達の段階を踏まえた指導

がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、学習指導要領に則り、中学校・高等学校において取り扱うことが望ましい。健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容での指導が望ましいと考えられる。

また、児童生徒の家族にがん経験者がいる場合や、家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合、さらには、児童生徒本人が小児がんの当事者である場合を踏まえ指導する必要がある。これらの情報を学校がすべて把握しているとは限らないため、該当する児童生徒がいる可能性を常に念頭において指導計画を立てるとともに、配慮を要する児童生徒には保護者も含めた個別指導を実施するなど、家庭との連携を図ることも重要である。



【参考 体育科・保健体育科における保健の学習の体系】



「生きる力」を育む中学校保健教育の手引（文部科学省R2.3）

【学習指導要領におけるがんの取扱い】

○小学校〔第6学年〕

教科：体育科（保健領域）

※ 小学校については、保健領域においてがんについて取り扱うことは記載されていないが、下記の部分等でがんについて触れることが考えられる。

【学習指導要領 H29.3 告示抜粋】

G 保健

(3) ア 病気の予防について理解すること。

(ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

【学習指導要領解説抜粋】

(ウ) 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防

生活行動が主な要因となって起こる病気として、心臓や脳の血管が硬くなったりつまったりする病気、むし歯や歯ぐきの病気などを適宜取り上げ、その予防には、全身を使った運動を日常的に行うこと、糖分、脂肪分、塩分などを摂りすぎる偏った食事や間食を避けたり、口腔の衛生を保つことなど、健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解できるようにする。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

㊦ 喫煙については、せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること、受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。

○中学校〔第2学年〕

教科：保健体育科（保健分野）

※ 下記の部分でがんを取り扱う。

【学習指導要領 H29. 3 告示抜粋】

2 内 容

(1) 健康な生活と疾病の予防

ア - (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。

【学習指導要領解説抜粋】

(ウ) 生活習慣病などの予防

㊦ 生活習慣病の予防

生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。

その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で動脈硬化が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

㊧ がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、㊦、㊧の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。

○高等学校

教科：保健体育科（科目保健）

※ 下記の部分でがんを取り扱う。

【学校学習指導要領 H30.3 告示抜粋】

3 内容

(1) 現代社会と健康

ア- (ウ) 生活習慣病などの予防と回復

健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。

【学習指導要領解説抜粋】

ア- (ウ) 生活習慣病などの予防と回復

がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。

③ がん教育で配慮が必要な事項

がん教育の実施に当たっては、授業の実施前までに以下のような事例に該当する児童生徒の存在が把握できない場合についても授業を展開する上で配慮が求められる。

- 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合
- 家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合
- 生活習慣が主な原因とならないがんもあることから、特に、これらのがん患者が身近にいる場合
- がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

なお、下記に配慮の例を記載したが、一定の配慮をすればそれで解決するようなものではなく、どのような配慮が一番よいかを身近な教員や学校が判断し、その配慮についても事後のフォローアップにより配慮の良し悪しを再検討する必要がある。また、小児がんの当事者が在籍するような場合は、延期したり内容や方法を検討する必要がある。

【学校における配慮の例】

- がん教育を行うことを事前に保健だより等で保護者に周知を図る。
- 事前に家庭からの情報を得るなど、個別指導の必要な児童生徒を把握する。
- 小児がんの当事者、小児がんにかかったことがある児童生徒がいる場合、事前に保護者や本人に了解を得た上でがん教育を行う。
- 家族にがん患者がいる児童生徒が在籍している場合、その児童生徒に対して、つらくなったら退席してもよい旨の事前指導を行う。
- 授業を受けたくない場合は、別室で学習させるなど、必要な配慮ができる体制や環境を整備する。
- 養護教諭等とともに指導するなど複数体制にする。
- 児童生徒の様子から、声かけや必要に応じて個人面談を実施する。

【発言等における注意事項】

- がんは生活習慣がもととなっている病気（生活習慣病）と強調し過ぎることにより、がんにかかった人は生活習慣が乱れた悪い人という誤解を与えないよう注意する。
- がんの要因のひとつに細菌やウイルスによる感染があるが、がんはうつるという誤解を与えないよう注意する。
- 遺伝要因が関与するがんもあることから、がんは遺伝するという誤解を与え、身内にがん経験者がいる場合等に過度の不安を与えないよう注意する。
- 「がんは不治の病である」「がんは簡単に治せる」など科学的根拠に基づかない極端な情報を与えないよう注意する。
- 生活習慣を改善することにより、かかるリスクを減らせるがんもあるが、遺伝要因が関与するものなど、本人自身で回避できない要因があることを明確に伝える必要がある。
- 本人に限定されるような内容に特化しないように、事例を一般化するなど工夫する。

④ 外部講師との連携

がん教育の実施に当たり、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深めるためには、がんに関する外部講師との連携が効果的となる。

がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、地域や学校の実情に応じて、学校医やがんの専門医等の外部講師の参加・協力などが効果的と考えられる。また、がんを通して健康と命の大切さを考える教育を進めるに当たっては、がん患者・経験者等の外部講師の参加・協力が効果的と考えられる。

その際、例えば、各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事等を関連させて指導することでより成果を上げるよう留意する。

【外部講師を活用したがん教育の進め方の基本方針】

(1) 講師の専門性が十分に生かされるよう工夫する。

地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医（がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、がん診療連携拠点病院の活用を考慮）、がん患者、がん経験者など、それぞれの専門性が十分に生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施する。

(2) 学校教育活動全体で健康教育の一環として行う。

保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。

(3) 発達段階を踏まえた指導を行う。

小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。その際、保健体育科でがんを含む疾病の予防が位置付けられている中学校2年生や高等学校1年生の指導後に外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。なお、効果的な指導を行うためには、学校保健計画に位置付けるなどして計画的に実施することが望ましい。

【講師の専門性】

学校医

従前から学校との関係性がある医学的専門家。がん教育以外についても学校における諸般の保健管理に関する専門的事項に関しての指導者であり、総合的に関係性を構築しやすい。

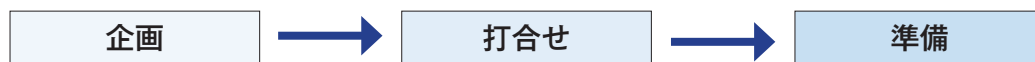
がん専門医

医師の中でも特にがんの専門家。がんの手術や緩和ケア等にも携わる経験を持ち、更に深い知識を得ることに有効であると考えられる。

がん患者・経験者

実際にがんを経験している。自己の経験談等から、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度の育成を図ることができると考えられる。

【外部講師を活用したがん教育実施上の手順（例）】



	企画	打合せ	準備
学校内	<p>保健主事や授業を担当する保健体育科教諭や学級担任などを中心に核となる教員を決め関係教職員と連携しつつ、外部講師を活用したがん教育を企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どんなテーマで ● いつ ● だれを講師に 	<p>外部講師を活用したがん教育の実施に向けて、教職員の共通理解を図り、実施内容等について話し合う。また、教科書やがん教育にかかわるビデオ、パンフレットなどの資料を準備し、外部講師を活用したがん教育の講師予定者との打合せに備える。</p>	<p>当日児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。</p> <p>必要な場合には事前学習・事前指導等を行う。</p>
関係者との調整	<p>外部講師を活用したがん教育の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前打診 ● 正式依頼状送付 ● 打合せ日程調整 	<p>外部講師を活用したがん教育の講師予定者と当日の指導内容や指導方法について打合せを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳細な日程 ● 講師と学校の役割分担 ● 準備品等 ● 指導上の留意事項の確認 	<p>資料や視聴覚機材についての最終確認を行う。</p> <p>講師と教員との役割分担についても確認する。</p>

ポイント

- 学校が主体となって企画・運営を行う。
- 核となる教員や授業を担当する教員だけがかかわるのではなく、全ての教職員の共通理解のもとに進める。
- 保護者への広報、啓発活動を同時に行うと効果的である。関係者、関係機関との継続した連携体制を構築する。
- 年度当初の職員会議等で、「学校保健計画」に基づき外部講師を活用したがん教育の開催予定を周知するなど、情報を共有する。

外部講師を活用
したがん教育

実施後の指導

評価まとめ

学 校 内	がん教育の目的・ねらいの説明、講師の紹介等を行う。 外部講師を活用したがん教育を実施する。	学校の実情に応じて、関連した教科と結び付けた指導を行う。 外部講師を活用したがん教育を受講した児童生徒が、内容に対する疑問や質問を聞いたり、感想をまとめたりするとよい。	成果や課題について担当者で話し合い、次年度の外部講師を活用したがん教育に生かす。 また、この結果は全ての教職員で共有する。
外部講師との調整	講師との最終確認を行い、がん教育を実施する。	外部講師に授業実施の感想などを尋ねるとともに児童生徒の感想などをまとめ、指導上の課題や児童生徒の実施後の指導などについて話し合う。	講師及び講師の所属先に礼状を出す。

ポイント

- 外部講師は、それぞれの専門性は備えていても児童生徒に対する教育指導に関しては専門家ではないので、事前に講師候補者と学習指導上の留意点について共有する。
- 外部講師との連携は重要であるが、授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意する。
- がん患者・経験者の体験談は貴重であるが、家族に経験者がいる場合などには強い印象を与える可能性があることに留意する。
- 教員と外部講師は事前事後で打合せを行うことで授業のねらいを押さえ、教育効果を高められるよう留意する。

【外部講師の皆様へ】

- 8～10ページの学習指導要領の抜粋を御参照の上、講師が伝えたい内容で一方的に構成したり、児童生徒が理解できない難解な言葉（専門用語）を用いたりするのではなく、対象となる児童生徒の興味・関心や理解力など、発達の段階を踏まえた内容で御指導願います。
- 現在及び将来に直面する可能性のあるがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるよう御指導願います。
- がん教育の二つの目標を達成するために、がんを通して健康や命のかけがえのなさに気づき、がん患者や家族などのがんと向き合う人々の取組に関心をもつとともに、健康な社会の実現に努めることができるよう御指導願います。
- 11ページの「③ がん教育で配慮が必要な事項」を御参照の上、児童生徒に配慮した内容で御指導願います。

【参考 外部講師による講話の効果】

平成30～令和2年度の栃木県がん教育総合支援事業におけるモデル校での外部講師による講話実施後の生徒の感想（抜粋）

がん専門医による講話後の感想

- がんについて詳しい話を聞くことができ良かったです。将来自分もがんになる可能性があることは前から分かっていましたが、何の対策もしていませんでした。しかし、今日の講話を聞いて、今のうちから少しでも対策をしていきたいと思いました。特に、運動不足や睡眠不足など、最近是不規則な生活をしているので、将来のためにも生活を改善していきたいです。また、がんになってから5年たって生きている人が60%もいるということが私の心に残りました。がんと闘っている人のために、自分ができることがあったら進んで行動したいと思います。
- 今回のがんについての講話で、今までの認識を改めることができました。がんを防ぐための12か条にも、生活習慣についての項目が多く驚きました。現在の生活習慣から様々なことを改め、がんになる確率を下げることができるようにしたいです。また、祖父が、がんを再発する確率を下げられるように、様々なことをサポートしたいです。
- がんを治すするには、手術、薬物療法、放射線治療があると初めて知りました。医師の方々は、がん治療に副作用が出てしまうので、極力副作用を少なくできるような取組をしていると聞いて応援したくなりました。また、私の身内はがんになる人が多く、私も遺伝的な要因でがんになる確率が高いと言われているので、がんについて真剣に向き合って、得られた情報については家族と共有していきたいです。

がん経験者による講話後の感想

- がん経験者として、がんになって気づいたことや分かったことなど、知識ではなく気持ちなどの心の面でがんについて学んだことが多くありました。また、自分ががんになったり家族ががんになったとき、どうやって守っていくのかを考えさせられました。そして、がんについての正しい情報を知り、家族と話し合っ支えていくことが大切だと分かりました。
- 講話を聞いて、実際になった時の心情や思い、支えてくれた人たちの温かさを知ることができました。また、検診がどんなに大切なのかをあらためて感じました。そして、周りの人の存在がとても大きなことだと思いました。もし周りにがんになった人がいる時には、そばにいて寄り添っていきたいです。
- 私は、がんというものはなったら死んでしまうというイメージがありました。しかし、今回の話を聞いて、早期に発見できれば根治も可能だということを知り、がんのイメージが少し変わりました。がんにならないことが一番だと思うので、まずはがんを予防することが大切だと思うけれど、なっていたときのために定期的に検査することも大切だとあらためて思いました。今回聞いた話を親にも話して、定期的に検査を受けてもらいたいと思いました。また、自分も大人になったらきちんと検査するようになりたいと思いました。

Ⅱ がん教育展開例

中学校展開例 1

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 4	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (生活習慣病の予防)	生活習慣病は日常生活と深い関係があることを理解する。
2 / 4	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。
3 / 4	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (がんの予防)	がんについて正しく理解し、今後の自分の生活について考えることができる。
4 / 4	特別活動	がん経験者による がんに関する講話	がん患者に対する正しい認識と、健康と命の大切さについて理解を深める。

● 3 / 4 保健体育科 保健分野指導展開例

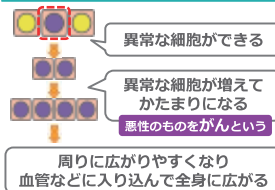
学習の流れ	留意点
<p>〔導入〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容について確認する。 ○ 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がんについて理解し、今後の生活について考えよう。</p> </div> <p>〔展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がんについて理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本のがんの現状 日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人が亡くなっていることを知る。 ● がんの仕組み 細胞分裂の際に細胞が変異して悪性になったものをがんということを理解する。 ● がんの原因 がんの原因として生活習慣、感染、遺伝が原因であることを知る。 <p>※参考となるスライド教材（60、61ページ参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病全般や授業前に実施された医師による講話に触れ、本時はがんについて学習することを説明する。 ○ がんのイメージについて触れる。 ○ 身近な人をがんで亡くしている生徒や身近にがん患者がいる生徒に対する配慮をしながら授業を行う。 ○ 生徒の様子や表情を観察し、不安や悩みを可能な限り把握する。 ○ がんについてスライド資料を使い説明する。 ○ がんの原因には主に生活習慣が関係していることを説明する。さらに、感染や遺伝が原因であることも押さえられるようにする。

がんになる人の割合

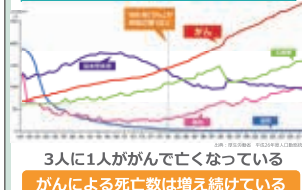


2人に1人

修復のしくみが動かないとき



がんによる死亡数



がんの原因

わかっている原因は大きく3つにわけられる

細菌・ウイルス

生活習慣

遺伝的原因

(グループ活動)

- がんの予防方法をグループで考え、ホワイトボードに記入する。
- グループの意見を発表する。
(状況に応じて数グループ程度)
- がんの予防として望ましい生活習慣やがん検診があることを知る。

〔まとめ〕

- 将来の自分を「がん」から守るための手紙を書く。
(本時で学習したがんの現状、仕組み、原因、予防や現在の生活習慣、改善したい生活習慣、これからできることなどを踏まえて手紙を書く)

○ 机間指導をしながら、グループでの意見交換の様子を把握する。

○ 生活習慣として、食事、適正体重、運動、禁煙、節酒が大切であることを説明する。

○ 今日の学習内容を活用し将来の自分に向けて手紙を考えさせる。

○ 机間指導をしながら、手紙を書いている生徒の様子を把握する。

○ つまずいている生徒がいたら、助言を行う。

《ワークシートの例》

年 組 番 ()

○将来の自分に手紙を書きましょう。

将来の自分へ

— 中学校展開例2 —

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 5	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (生活習慣病の予防)	人間の健康は生活行動と深く関わっており、調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解する。
2 / 5	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。
3 / 5	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (がんの予防)	がんの特徴と要因を知り、がんを予防するために必要な今後の自分の生活習慣について考えることができる。
4 / 5	道徳科	生命の尊さ	がんを題材として授業を展開し、生命の尊さについて考えることができる。
5 / 5	特別活動	がん経験者による がんに関する講話	がん患者に対する正しい認識と、健康と命の大切さについて理解を深める。

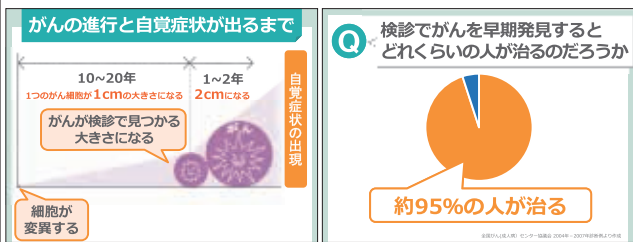
● 3 / 5 保健体育科 保健分野指導展開例

※保健体育科教諭と養護教諭によるTT例（T1：保健体育科教諭、T2：養護教諭）

学習の流れ	留意点												
<p>〔導入〕</p> <p>○ がんの特徴や要因についてのクイズに解答しながら復習する。 (例) がん細胞 がんの要因 (生活習慣病等) がんの現状 など</p> <p>※参考となるスライド教材 (60、61 ページ参照)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">がんのしくみ</p> <p style="font-size: small;">わたしたちの体の細胞は毎日分裂し新しくなっている 約37兆個</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">細胞分裂するとき 変異 が起こることがある</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">長生きも原因の一つ</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">長生きする</p> <p style="font-size: small;">細胞分裂の回数が多くなる</p> <p style="font-size: small;">細胞が変異する可能性が高まる</p> <p style="font-size: small;">細胞を正常に保つ働きが低下しはじめる</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">がんは誰もがなりうる病気</p> </div> </div> <p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid #0070c0; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">がんの予防法について理解し、今後の生活への向き合い方について考えて、説明しよう。</p> </div> <p>〔展開〕</p> <p>○ がんのリスクを軽減させるために、自分の生活習慣について振り返る。</p> <p>① がん予防に関するスライド教材等から、がん予防の原則を知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 100%;"> <p style="font-size: small; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">今、わたしたちにできること</p> <p style="font-size: x-small; background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">喫煙・受動喫煙・飲酒・食事(野菜不足、脂肪のとりすぎなど)・運動不足など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">細菌・ウイルス</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">生活習慣</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">遺伝的原因</div> </div> <p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px; margin-top: 5px;">今、自分にできることを心がけることが大切</p> </div> </div> <p>※参考となるスライド教材 (60 ページ参照)</p>	<p>○ 授業前に実施された医師の講話で扱われた内容を踏まえて、がんの特徴や要因についての知識をクイズ形式で確認し、理解が不十分な知識については教師が補足説明する。(T1)</p> <p>○ 身近な人をがんで亡くしている生徒や身近にがん患者がいる生徒に対して配慮をしながら授業を行う。また、ゲームのような雰囲気クイズにならないよう進める。</p> <p>○ がんについての知識を確認する。(T2) ※状況に応じてスライド教材等を使用</p> <p>○ 本時のねらいを板書し、意識化を図る。がんは誰にでも発症のリスクがあるため、自分事として考えるよう指導する。(T1)</p> <p>○ がん予防の原則について、スライド教材等を用いて説明する。(T1)</p> <div style="border: 1px solid #0070c0; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #0070c0;">がんを防ぐための 新 12か条</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>1 条 たばこは吸わない</td> <td>7 条 適度に運動</td> </tr> <tr> <td>2 条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける</td> <td>8 条 適切な体重維持</td> </tr> <tr> <td>3 条 お酒はほどほどに</td> <td>9 条 ウイルスや細菌の感染予防と治療</td> </tr> <tr> <td>4 条 バランスのとれた食生活を</td> <td>10 条 定期的ながん検診を</td> </tr> <tr> <td>5 条 塩辛い食品は控えめに</td> <td>11 条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を</td> </tr> <tr> <td>6 条 野菜や果物は不足にならないように</td> <td>12 条 正しいがん情報でがんを知ることから</td> </tr> </table> </div> <p>《参考》 がんを防ぐための新12か条》</p>	1 条 たばこは吸わない	7 条 適度に運動	2 条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける	8 条 適切な体重維持	3 条 お酒はほどほどに	9 条 ウイルスや細菌の感染予防と治療	4 条 バランスのとれた食生活を	10 条 定期的ながん検診を	5 条 塩辛い食品は控えめに	11 条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を	6 条 野菜や果物は不足にならないように	12 条 正しいがん情報でがんを知ることから
1 条 たばこは吸わない	7 条 適度に運動												
2 条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける	8 条 適切な体重維持												
3 条 お酒はほどほどに	9 条 ウイルスや細菌の感染予防と治療												
4 条 バランスのとれた食生活を	10 条 定期的ながん検診を												
5 条 塩辛い食品は控えめに	11 条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を												
6 条 野菜や果物は不足にならないように	12 条 正しいがん情報でがんを知ることから												

- ② 自分自身の生活習慣をチェックしたうえで、今後がんにならないための課題と計画について、その理由を含めて記述する。
- ③ 小グループで、がん予防のための各自の課題と計画を発表し、意見や考えを出し合う。
- ④ 小グループ内での話合いやがん予防新12か条を踏まえて、各自で考えた計画案を見直し、再整理する。

○ がん検診の必要性を確認する。
 ※参考となるスライド教材（64ページ参照）



【まとめ】

○ 本時の振り返りをする。

- ワークシートに記入させる。(T 1)
- がん予防新 12 か条を示し、ワークシートを活用しながら支援する。(T 1)
- 自分のこととして捉え、グループで話合いを行えるように指示する。自分のこととして適切に捉えられていない生徒には、がん予防新 12 か条をもとに、自分の生活を考えるよう助言する。(T 1、T 2)
- 小グループごとに良い計画をホワイトボードに記入させる。(T 1)

- 検診について話をする。(T 2)
- 生活習慣に気を付けていてもがんになる可能性があることから、がん検診の大切さを押さえる。(T 2)

※状況に応じてスライド教材等を使用

- 適切な生活習慣を身に付けることが、がんの予防に有効であること、それを生徒が自分のこととして捉えられるように、まとめる。(T 1)

《ワークシートの例》

ワークシート

年 組 番 名前

ねらい：

メモ欄：

★がん予防のための生活習慣チェック★
 1 最近 1 か月の生活を振り返りましょう。

評価例 ○ △ ×

項目	内容	評価
食生活	朝食を毎日食べている。	
	栄養バランスの良い食事をしている。	
	食事の量は、適切である。	
運動習慣	体育の授業は、積極的に参加している。	
	体育の授業以外に、自分から意識的に運動をしている。(筋力トレーニング、散歩等)	
睡眠・疲労	睡眠時間は 7 時間程度に取れている。	
	身体的疲労が続くことはない。	
	精神的疲労が続くことはない。	
自己の体調管理に対する意識	体調が悪いときには、その原因を考えている。	
	食生活を見直したり、改善しようとしていたりしている。	
	運動習慣を見直したり、改善しようとしていたりしている。	
受動喫煙	疲労やストレスを感じたときに、原因を考え改善しようとしている。	
	人が吸ったたばこの煙を吸ってしまうことがない。	

2 課題解決型の手順に従って考えよう。

(1)解決方法の選択 生活習慣チェックを見て課題を把握し、解決する方法を考えてみよう。

課 題	解 決 法
例：父親が吸ったたばこの煙を吸っている。	別の部屋に行く、外で吸ってもらう約束をする、など
①	→
②	→
③	→

(2)計画の立案 (1)で考えた方法を実行する計画を立てましょう。(今自分ができること)

例：家族会議を開き、吸う場所を決めてリビングに掲示する。(チェックしたり、記録したりすることを書く。) 今日帰ったら、父親にたばこの害を伝え、禁煙外来のパンフレット渡し、やめてもらう、など

参考にした計画

※他の人の意見を聞いて、参考にしたいと思ったものがあったら色ペンなどで付け加えましょう。

★本時の振り返り★

— 中学校展開例3 —

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 5	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (生活習慣病の予防)	生活習慣病には日常生活と深い関係があることを理解する。
2 / 5	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。
3 / 5	保健体育科 保健分野	健康な生活と疾病の予防 「生活習慣病などの予防」 (がんの予防)	学習した知識を活用して、がんの予防方法を考えることができる。
4 / 5	家庭科	衣食住の生活 「食事の役割と中学生の栄養の特徴」	がん予防の可能性のある食品を取扱い、健康によい食習慣について理解する。
5 / 5	特別活動	がん経験者による がんに関する講話	がん患者に対する正しい認識と、健康と命の大切さについて理解を深める。

● 3 / 5 保健体育科 保健分野指導展開例

学習の流れ	留意点
<p>〔導入〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の授業や医師による講話に触れ、がんについて喚起する。 ○ 生活習慣とがんについて、医師による講話の内容を振り返って、どのようなものがあつたかあげる。 ※参考となるスライド教材 (60ページ参照) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">がんのしくみ</p> <p style="font-size: small;">わたしたちの体の細胞は毎日分裂し新しくなっている 約37兆個</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">細胞分裂するとき 変異 が起こることがある</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">変異した細胞はどうなるのだろうか</p> <p style="font-size: small;">正常に修復 排除</p> <p style="text-align: center;">修復や排除により正常に保たれるしくみがある</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">修復のしくみが働かないとき</p> <p style="font-size: small;">異常な細胞ができる 異常な細胞が増えてかたまりになる 悪性のものをがんという</p> <p style="font-size: small;">周りに広がりやすくなり血管などに入り込んで全身に広がる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">今、わたしたちにできること</p> <p style="font-size: x-small;">喫煙・受動喫煙・飲酒・食事(野菜不足、脂肪のとりすぎなど)・運動不足など</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">細菌・ウイルス 生活習慣 遺伝的原因</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a08a; color: white;">今、自分にできることを心がけることが大切</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">がんを予防するためにできることを考え、これからの生活に役立てよう。</p> </div> <p>〔展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん予防の視点からゲストの先生方に生活改善をアドバイスする。 <p>(流れ)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アドバイスのために必要な情報を話し合う。(喫煙習慣、飲酒習慣、食生活、運動習慣、検診、その他) ② ゲストティーチャーにインタビューして必要な情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文部科学省のスライド資料を活用し、がんと生活習慣の関係性を理解させるとともに、よりよい生活習慣が、がん予防(将来がんになりにくくする)につながることも理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人を病気等で亡くしている生徒の表情をしっかりと把握する。 <p>※ 年齢や生活の様子が異なる教員にゲストとしての協力を依頼しておく。(3人程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導しながら、グループでの意見交換の様子を把握する。

- ③ ゲストティーチャーの生活の改善点や改善策をグループで話し合う。
- ④ ゲストティーチャーにアドバイスする。
- ⑤ ゲストティーチャーの感想を聞く。

【まとめ】

- 自分自身の生活を振り返りワークシートにまとめる。

- 話し合った内容を短い言葉でホワイトボード等にかかせる。
- 班ごとにホワイトボードを黒板に貼り、ゲストティーチャーにアドバイスさせる。
- 分かっている行動に表せるかどうかは別であることにも気付かせる。

- 生活習慣の乱れががんを引き起こす要因になる（生活習慣に気を付けていても、がんになる可能性があることも）ことをおさえる。
- 「自分の健康は自分で守る」ことを意識させる。また、家族への生活習慣のアドバイスもできることを意識させる。（先生方の感想を参考に、うまく取り組むためのポイントを考えさせる）

《ワークシートの例》

ワークシート

年 組 番 氏名 _____

めあて
～がんを予防するためにできることを考え、これからの生活に役立てよう～

がん予防の視点から先生方に生活改善をアドバイスしよう。

Step1 先生達にアドバイスするために、生活習慣についての質問事項をグループで考えよう！

() 先生

Step2 () 先生の話聞きながら、生活習慣をメモしよう！

Step3 インタビュー（質問事項）をもとに、気を付けて欲しいことやより良い生活にするための改善策を考えよう！

※代表者は発表用のホワイトボードに改善策を箇条書きで記入しましょう！

授業のふりかえり

授業を終えて、分かったことや今後にかしたいこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

— 高等学校展開例 1 —

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (生活習慣病とその予防)	生活習慣病とその原因となる生活習慣について理解し、正しい生活習慣や健康診断の必要性について説明できる。
2 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	がんの発生や日本の現状について理解し、がんを身近な問題として捉えることができる。
3 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	がんの原因と予防法を理解し、一次予防や二次予防の必要性について説明できる。
4 / 4	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。

● 3 / 4 保健体育科 科目「保健」指導展開例

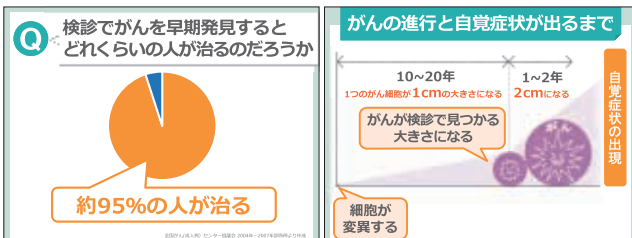
学習の流れ	留意点										
<p>〔導入〕</p> <p>○ 前時の復習と本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">がんの原因や予防方法について説明できる。 がん検診の必要性について説明できる。</p> </div> <p>※参考 前時の復習 スライド教材 (61、62ページ参照)</p> <div style="border: 1px solid teal; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">がんになる人の割合</p> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: 1.2em; color: orange;">2人に1人</p> </div> </div> <p>〔展開〕</p> <p>○ がんの原因について理解する。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">発問1 がんにならないためにできることは何だろう (ワークシートに記入)</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 男性のがんの原因から生活習慣ががんの発生に影響していることを理解する。 ② 望ましい生活習慣について考える。 ③ 生活習慣以外の男性のがんの原因及び女性のがんの原因から、細菌やウイルスによる感染もがんの原因であることを理解する。 ④ がんの要因には遺伝や原因不明なものもあり、完全に防ぐことはできないことを理解する。 <p>※参考となるスライド教材 (60~63ページ参照)</p>	<p>○ 気分が悪くなったら声をかけるように伝える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid teal; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">がんによる死亡数</p>  <p style="text-align: center; color: orange;">3人に1人ががんで亡くなっている がんによる死亡数は増え続けている</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">細胞が分裂するすべての臓器にがんができる可能性がある</p>  <p style="text-align: center; color: orange;">細胞が分裂するときの変異によりがん細胞ができるから</p> </div> </div> <p>○ 主ながんの種類から連想される生活習慣を考えさせ、ワークシートに記入させる。</p> <p>(スライド教材による説明)</p> <p>○ がんの主な原因の一つが生活習慣であり、生活習慣を整えることでがんのリスクを軽減できることを説明する。(リスクがなくなるわけではないところに注意する。)</p> <p>○ 生活習慣以外の原因についても詳しく説明する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid teal; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">がんの原因</p> <p style="text-align: center; color: teal;">男性の場合</p>  </div> <div style="border: 1px solid teal; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">主ながんの種類と特徴など</p> <table border="1" style="font-size: 0.8em;"> <thead> <tr> <th>がんの名称</th> <th>特徴など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>・ピロリ菌の感染が発病にかかわっていると考えられている。</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>・運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>・我が国では死亡者数が多く、特に男性に多い。 ・最大の要因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4~5倍にもなる。</td> </tr> <tr> <td>肝臓がん</td> <td>・主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルスの感染である。 ・大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid teal; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">がんの原因</p> <p style="text-align: center; color: teal;">女性の場合</p>  </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">望ましい生活習慣以外にできること</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px;">細菌・ウイルス</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px;">生活習慣</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 5px;">遺伝的原因</div> </div> <p style="text-align: center; color: orange; font-weight: bold;">がん検診を受ける</p> <p style="text-align: center;">早期発見で治すことができる</p> </div> </div>	がんの名称	特徴など	胃がん	・ピロリ菌の感染が発病にかかわっていると考えられている。	大腸がん	・運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。	肺がん	・我が国では死亡者数が多く、特に男性に多い。 ・最大の要因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4~5倍にもなる。	肝臓がん	・主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルスの感染である。 ・大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。
がんの名称	特徴など										
胃がん	・ピロリ菌の感染が発病にかかわっていると考えられている。										
大腸がん	・運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。										
肺がん	・我が国では死亡者数が多く、特に男性に多い。 ・最大の要因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4~5倍にもなる。										
肝臓がん	・主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルスの感染である。 ・大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。										

- がん検診の大切さについて理解する。
 - ① がん検診を受けることでがんの早期発見ができることを理解する。

発問2 早期発見（I期）をすることでどれくらいの方ががんを治すことができるだろうか。（ワークシートに記入後グループ内で話し合い発表する）
4 択（95% 65% 35% 0%）

- ② がんの進行と5年生存率から早期発見の大切さを理解する。
- ③ がん検診の受け方や種類、検診の受診率が低いことを理解する。

※参考となるスライド教材（64ページ参照）

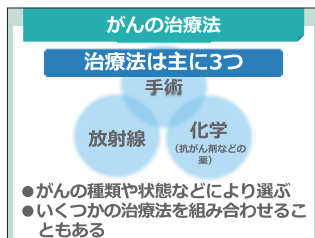


発問3 がん検診を受けないというAさんがどのようにしたら検診を受けるようになるかを考え、Aさんに適切なアドバイスをしてみよう。（ワークシートに記入後、グループ内で話し合い発表する）

Aさん：健康には十分気をつけていて自信がある。身内にがんになっている人はいないし、自分もがんにならないと思っている。体調が悪くなってから病院へ行けば問題ない。そもそも検診の受け方が分からない。

- がんの治療法を知る。

※参考となるスライド教材（65ページ参照）



【まとめ】

- 本時の学習を振り返る。

発問4 本時の授業を受けて、今後あなたのできるがんに対しての適切な行動についてまとめてみよう。（ワークシートに記入後、まとめた内容を発表する。）

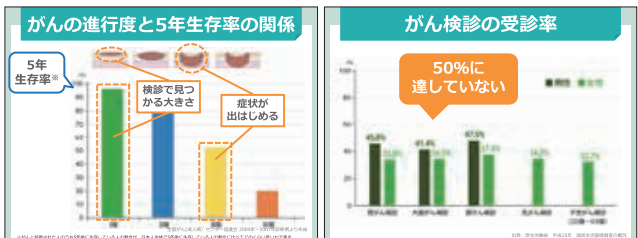
- がんを防ぐための新12か条を確認する。

- がん検診を受けることで早期発見ができることを説明してから発問2に移る。

- 個人でワークシートに記入させた後、グループ内で話し合い、答えを一つにまとめて発表させる。

（スライド教材による説明）

- 早期発見により、ほとんどのがんを治すことができるので、早期発見の重要性を認識させる。
- がんの種類によって治る可能性が違うことにも触れる。



- がん検診を受けないAさんへのアドバイスを考えさせる。
- 記入した内容についてグループ内で話し合い、全体に発表させる。

（スライド教材による説明）

- がんの治療法について説明する。
- ※ 詳細についてはがん講話で説明があることを伝える。

- 本時のまとめをワークシートに記入させる。
- 数名の生徒にまとめた内容を発表させる。

- がんを防ぐための新12か条を説明し、がんの予防を再確認する。

《ワークシートの例》

1年 組 番 氏名 _____

1. がんにならないために私たちにできることは何だろう

2. がんの原因

主ながんの原因は _____、 _____、 _____ であり、
なかには _____ のものもある。



がんを100%防ぐ方法は _____ → _____ を受診して
_____ することが大切！

3. がんを早期発見（Ⅰ期）することで、どれくらいの人のがんを治すことができるだろうか。

① 95% ② 65% ③ 35% ④ 0% 4 択から1つを選び、予想欄に番号と選んだ理由を記入しよう。

予想	選んだ理由	正解

【補足】 自覚症状が出るころ（Ⅲ期）の _____ は _____ %程度であり、
気づいたときには _____ になる場合もある。

4. がん検診の受け方

① _____ … _____（ _____、 _____）で受診する。

➡ 予約は直接 _____ へ問い合わせる。

② _____： _____ や _____ で受診する。

➡ 予約は _____ の健康増進課などの窓口から行う。

5. がん検診を受けない人Aさんがどのようにしたら検診を受けるようになるかを考え、適切なアドバイスをしてみよう！

6. がんの治療法は主に _____、 _____、 _____ であり、がんの種類や状態などにより選ぶ。いくつかの治療法を _____ こともある。

7. 今後、あなたにできるがんに対する適切な行動についてまとめてみよう！

—— 高等学校展開例2 ——

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (生活習慣病とその予防)	生活習慣病の発病や進行の概要、早期発見・早期治療の重要性について理解する。
2 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	グループ(3~4人)ごとにパソコンを使用し、がんについての調べ学習を行い、理解を深める。 ※調べ学習の時間数は状況に応じる。
3 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	がんについて正しく理解し、自分の生活を振り返るとともに社会的対策の重要性についても理解する。
4 / 4	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。

● 3 / 4 保健体育科 科目「保健」指導展開例

学習の流れ	留意点
<p>〔導入〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容について確認する。 ○ 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>個人として自分たちがどのようなことを心がける必要があるのか。また、社会的な取組としてどのようなことが重要であるのかまとめてみよう。</p> </div> <p>〔展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に作成したがんについて調べた内容をまとめた模造紙を活用し、グループごとに発表する。 (1グループ5分) <p>3分 発表 ↓ 1分 グループごとに質問や感想を話し合う ↓ 1分 質疑応答・感想</p> <p>テーマ別 (参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> A) がんとはどういうものか B) がんはどのように進行していくのか (症状も含めて) C) 日本と世界のがんの比較 D) がんの種類について (男女別、年齢別も含めて) E) がんの予防について 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を説明し、ねらいを確認する。 ○ 発表させるグループ数については、授業時間やテーマ数により調整する。 <p>※ 本指導例は、全12グループのうち6グループに発表をさせる展開 なお、発表しないグループの資料は、掲示や配布などにより他グループに周知を図る方法がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ決めてある発表順でグループごとに発表させる。 ○ 発表グループ以外のグループは、ワークシートに記入させる。 ○ 発表後、1分間でグループごとに意見交換を行い発表グループ以外のグループに質問や感想を発表させる。 ○ 発表ごとに指導者から良かった点、改善点や補足説明、ポイントなどを助言する。
	<p>《参考 生徒がまとめた模造紙の例》</p>

F) がんの検診について
 ※どのサイトから引用したのかも発表する。

- 引用文献についても触れさせる。
- 発表後に緩和ケア、治療方法についてもふれる。
 ※詳細については専門医の講話があることを伝える。

〔まとめ〕

○ 個人や社会的取組についてワークシートへ記入する。

○ 本時で学んだことを通して、個人でどのような行動が大切なのか、また、社会的取組として重要であることなどのまとめや感想をワークシートへ記入させる。

○ 本時のまとめ

○ 本時の学習内容についてまとめを行い、がんは誰にでも起こりうること、生活習慣の見直しが大切であることなどを理解させる。

《ワークシートの例》

○ グループ活動記載用

発表グループ	班					
テーマ						
学んだこと						
評価	1	2	3	4	5	(悪い1 ← 3 →良い5)
感想						

○ 個人のまとめ記載用

○ 個人として、**自分たちがどのような行動**を心がける必要があるのか、また**社会的な取組**としてどのようなことが重要であるのかまとめてみよう！

—— 高等学校展開例 3 ——

● 指導の流れ

時数	教科等	単元等	ねらい
1 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (生活習慣病とその予防)	生活習慣病の種類や予防、定期的な健康診断の重要性について理解する。
2 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	がんの種類や原因及び生活習慣病と関連の深いがんについて理解する。
3 / 4	特別活動	医師による がんに関する講話	がんについての正しい知識を習得し、理解を深める。
4 / 4	保健体育科 科目「保健」	現代社会と健康 「生活習慣などの予防と回復」 (がんについて)	がん患者や家族との共生について理解し、命の大切さについて考えることができる。

● 4 / 4 保健体育科 科目「保健」指導展開例

学習の流れ	留意点
<p>〔導入〕</p> <p>○ 本時の学習の内容とねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がん患者の家族の立場でグループワークを行い、がん患者との共生を考える。</p> </div>	<p>○ 今の自分ではなく、今の自分の親の立場をイメージさせる。</p> <p>○ 身近な人をがんで亡くしている生徒や身近にがん患者がいる生徒に対して配慮をしながら授業を行う。</p>
<p>【発問】</p> <p>グループ員を兄弟姉妹と仮定します。今のあなたは40代で、あなた達の母（又は父）が70歳でがんを発症しました。治療方針について医師から二つの提案を受けました。限られた時間の中で兄弟姉妹と相談し、治療方針を決断しなければなりません。あなたは、どんな選択をしますか？</p> <p>☆医師からの提案</p> <p>① 手術ができればかなりの確率で治るので、手術と抗がん剤治療を並行して行う。ただ、手術にはかなり危険が伴うこととその後の体力が持つかが問題である。</p> <p>② 治らないが、手術は行わずに現状の状態を長く保つための治療に専念する。ただし、どのくらい現状を維持できるか不明である。</p>	
<p>〔展開〕</p> <p>○ グループ分け</p> <p>○ 進め方の確認</p> <p>○ グループワーク</p>	<p>※ 発問は、教師自身が実際に経験した内容にするとまとめにおける展開がしやすい。</p> <p>○ できるだけ簡潔に要点をまとめて説明する。</p> <p>○ 生徒の表情などにも気を付けながら、各グループの支援を行う。</p>

【参考 進める上でのルール】

- ・グループは5人組（8班）
- ・グループで司会役（長女又は長男役）を決める。
- ・必ず全員の意見を聞いた上で議論を進める。
- ・10～15分で必ず結論を出す。（理由も含めて）
- ・結論の出し方は自由とする。（多数決でも、司会役の意見でも）

- 発表
（司会役が白板に板書しながら発表するとわかりやすい）

【まとめ】

- がん患者やその家族への共感的理解のもと共生について考える。

- 大切な人に早期のがんが発見されたと仮定し、どう心を寄せていくかメッセージを作成する。
※発表はなし。

- 発表の理由で気になることがあったら確認する。

- 教師自身の体験談を語り、より身近な健康問題として捉えられるよう説明する。この授業展開では、この説明が重要となる。

【参考 体験談等内容】

- ・ 今回のグループ設定の状況が、実際に教師が経験した内容であること。
 - ・ 実際に家族ががんに罹患して、家族の一員として何ができるか考えたこと。
 - ・ がんとの向き合い方は様々で、治すことを目指すばかりではない場合もあること。
 - ・ この話を聞いて、がん患者やその家族の気持ちに少しでも共感が持てるきっかけになってほしいこと。
- 大切な人は、自分以外の誰でもよいことを説明する。

《メッセージカードの配付》
“大切なあなた（○○）へ”

【メッセージ内容例】

○○がんは早期発見で治る見込みが大きいから、焦らず治療していきましょう。

○○という治療法であれば、働きながら治療を続けることができるから職場へ相談しようよ。

家のことは心配しないで治療に専念して。私が、お母さんを手伝うから。など

Ⅲ がん教育の成果

学校におけるがん教育を実践することにより、がんについて正しく理解することや、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにすることが大きな目標である。その目標を踏まえて平成30～令和2年度に実践された、栃木県がん教育総合支援事業のモデル校におけるがん教育の成果については下記のとおりと捉えられる。

なお、モデル校は3年間で中学校3校、高等学校3校であるが、各モデル校とも学校教育活動全体でがん教育に取り組み、成果を上げている。

【栃木県がん教育総合支援事業のモデル校におけるがん教育の成果】

- がんに関する正しい知識の習得
- 生活習慣を改善しようとする生徒の増加
- がん検診を受診しようとする生徒の増加
- がんに関心した人への正しい認識の向上
- がんと健康について家族と共有しようとする生徒の増加

【参考 モデル校におけるアンケート集計結果（抜粋）】

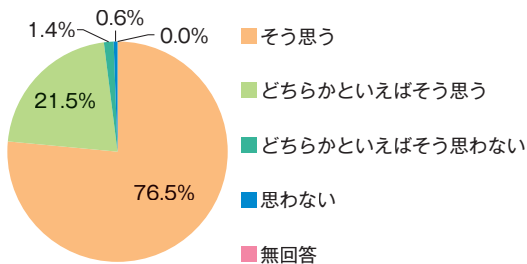
下記のグラフは、栃木県がん教育総合支援事業のモデル校におけるがん教育の実践前と実践後に、対象学年の生徒を対象として実施したがん教育に関するアンケート集計結果の抜粋である。

なお、モデル校においては、各校のがん教育の取組内容は様々であるが、中学校3校及び高等学校3校を校種別に合わせた集計結果である。

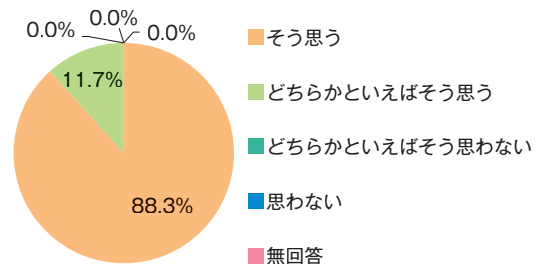
〔中学校〕

Q1 がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	270
■ どちらかといえばそう思う	76
■ どちらかといえばそう思わない	5
■ 思わない	2
■ 無回答	0

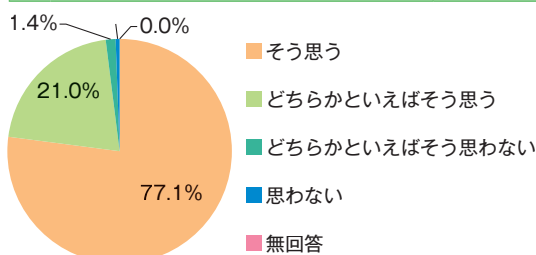


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	310
■ どちらかといえばそう思う	41
■ どちらかといえばそう思わない	0
■ 思わない	0
■ 無回答	0

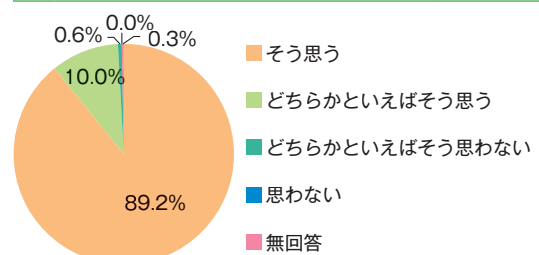


Q2 がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	272
■ どちらかといえばそう思う	74
■ どちらかといえばそう思わない	5
■ 思わない	2
■ 無回答	0

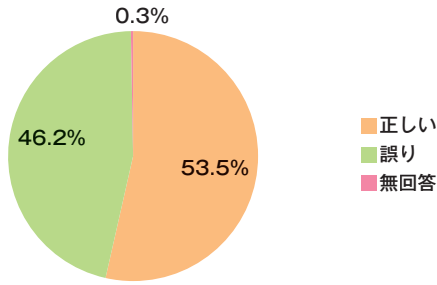


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	313
■ どちらかといえばそう思う	35
■ どちらかといえばそう思わない	2
■ 思わない	0
■ 無回答	1

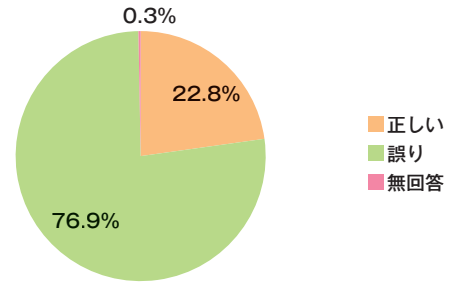


Q3 がんは日本人の死因の第2位である

(実施前)	(単位：人)
正しい	189
誤り	163
無回答	1

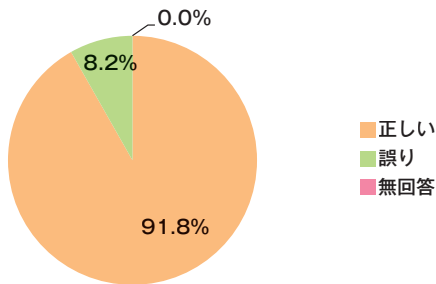


(実施後)	(単位：人)
正しい	80
誤り	270
無回答	1

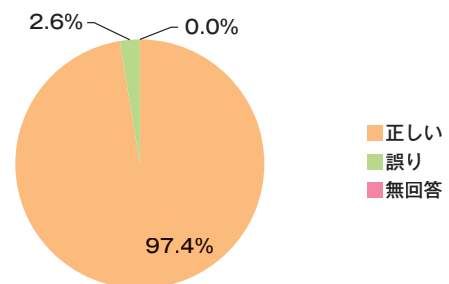


Q4 たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする事、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある

(実施前)	(単位：人)
正しい	324
誤り	29
無回答	0

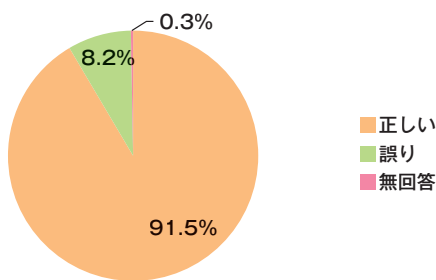


(実施後)	(単位：人)
正しい	342
誤り	9
無回答	0

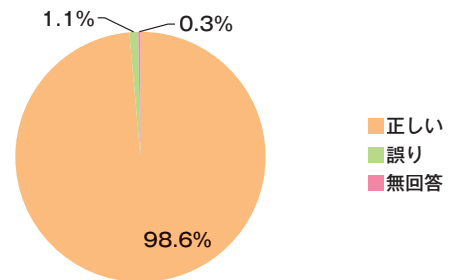


Q5 早期発見すれば、がんは治りやすい

(実施前)	(単位：人)
正しい	323
誤り	29
無回答	1

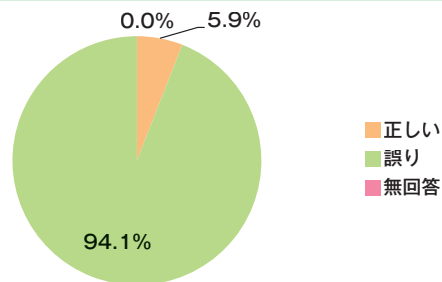


(実施後)	(単位：人)
正しい	346
誤り	4
無回答	1

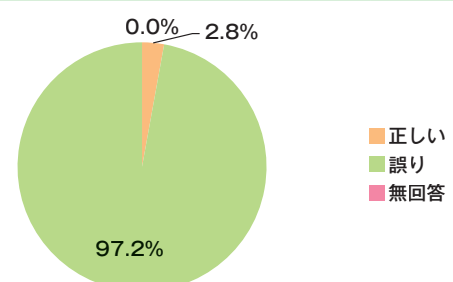


Q6 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い

(実施前)	(単位：人)
正しい	21
誤り	332
無回答	0

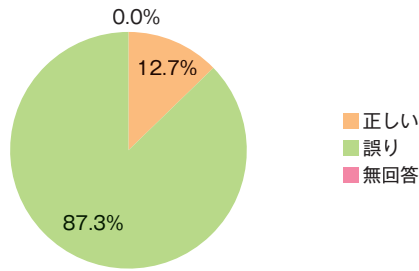


(実施後)	(単位：人)
正しい	10
誤り	341
無回答	0

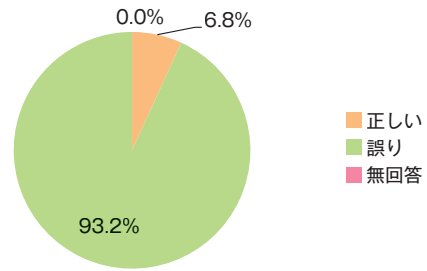


Q7 がんの治療法には手術治療しかない

(実施前)		(単位：人)
正しい	45	
誤り	308	
無回答	0	

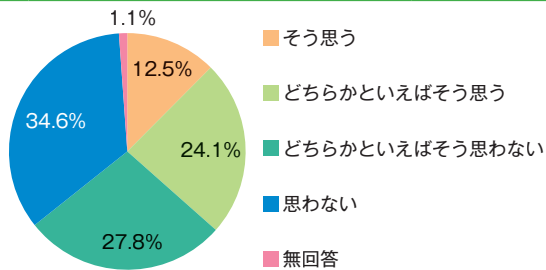


(実施後)		(単位：人)
正しい	24	
誤り	327	
無回答	0	

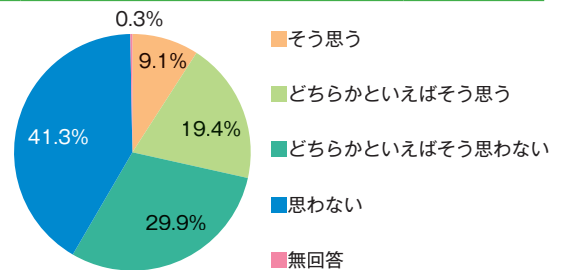


Q8 自分はがんにならないと思う

(実施前)		(単位：人)
そう思う	44	
どちらかといえばそう思う	85	
どちらかといえばそう思わない	98	
思わない	122	
無回答	4	

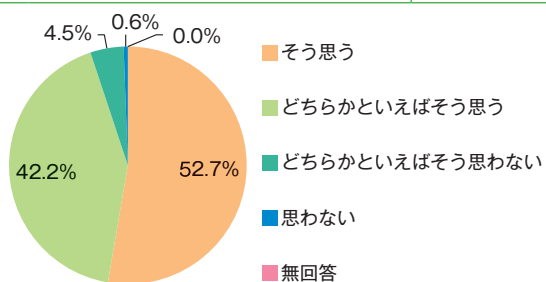


(実施後)		(単位：人)
そう思う	32	
どちらかといえばそう思う	68	
どちらかといえばそう思わない	105	
思わない	145	
無回答	1	

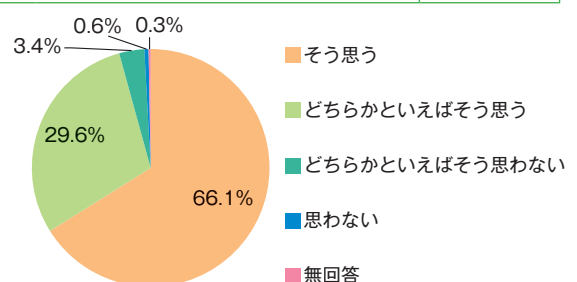


Q9 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う

(実施前)		(単位：人)
そう思う	186	
どちらかといえばそう思う	149	
どちらかといえばそう思わない	16	
思わない	2	
無回答	0	

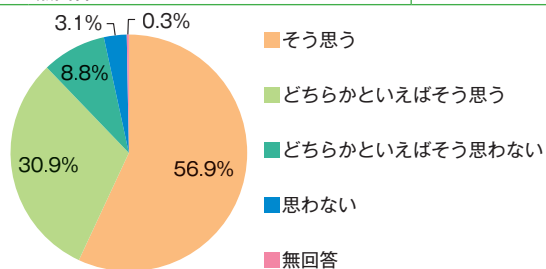


(実施後)		(単位：人)
そう思う	232	
どちらかといえばそう思う	104	
どちらかといえばそう思わない	12	
思わない	2	
無回答	1	

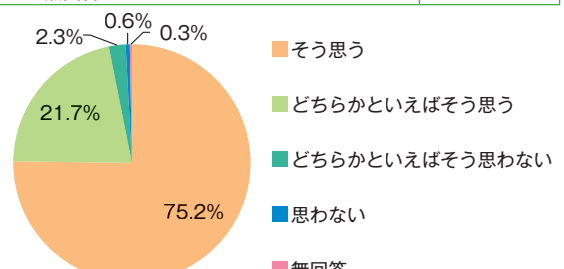


Q10 がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う

(実施前)		(単位：人)
そう思う	201	
どちらかといえばそう思う	109	
どちらかといえばそう思わない	31	
思わない	11	
無回答	1	

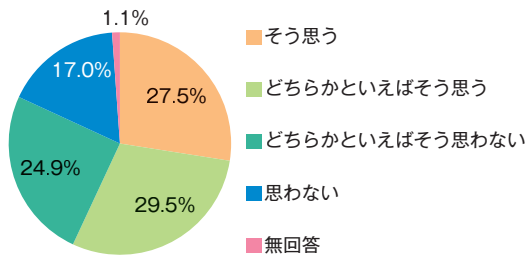


(実施後)		(単位：人)
そう思う	264	
どちらかといえばそう思う	76	
どちらかといえばそう思わない	8	
思わない	2	
無回答	1	

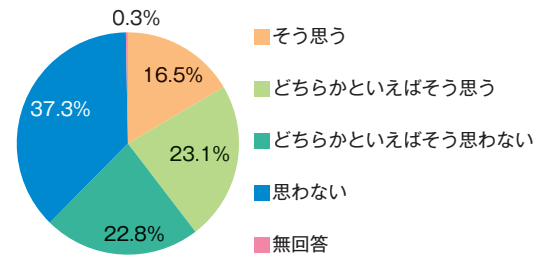


Q11 がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	97
■ どちらかといえばそう思う	104
■ どちらかといえばそう思わない	88
■ 思わない	60
■ 無回答	4

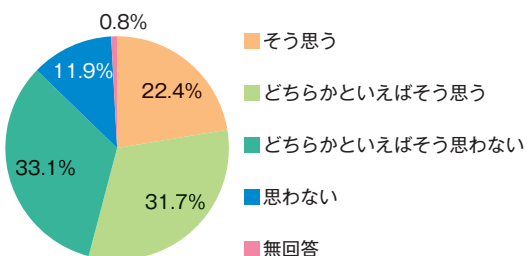


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	58
■ どちらかといえばそう思う	81
■ どちらかといえばそう思わない	80
■ 思わない	131
■ 無回答	1

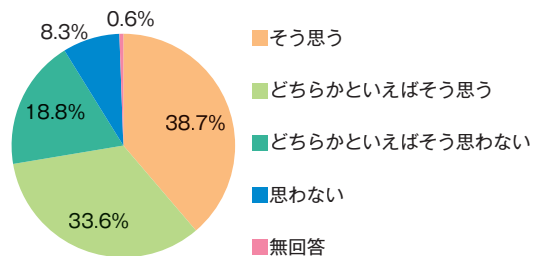


Q12 がんになっても生活の質を高めることができる

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	79
■ どちらかといえばそう思う	112
■ どちらかといえばそう思わない	117
■ 思わない	42
■ 無回答	3

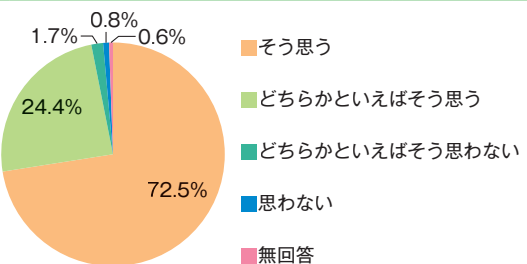


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	136
■ どちらかといえばそう思う	118
■ どちらかといえばそう思わない	66
■ 思わない	29
■ 無回答	2

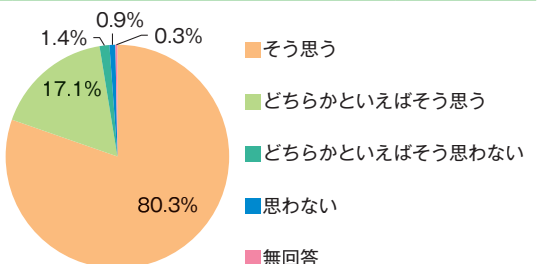


Q13 がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	256
■ どちらかといえばそう思う	86
■ どちらかといえばそう思わない	6
■ 思わない	3
■ 無回答	2

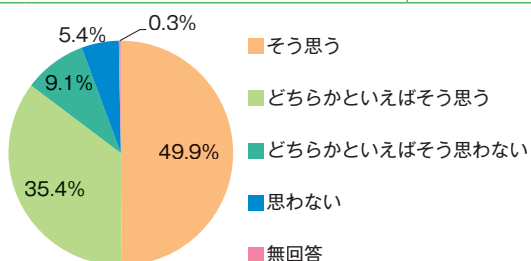


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	282
■ どちらかといえばそう思う	60
■ どちらかといえばそう思わない	5
■ 思わない	3
■ 無回答	1

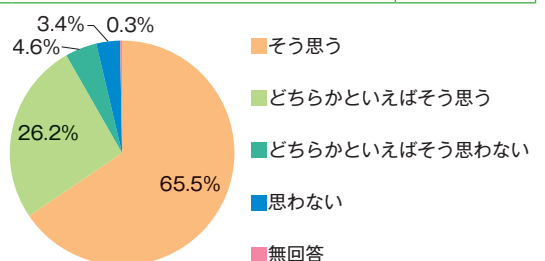


Q14 がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	176
■ どちらかといえばそう思う	125
■ どちらかといえばそう思わない	32
■ 思わない	19
■ 無回答	1

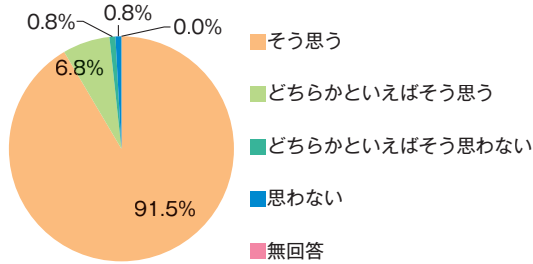


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	230
■ どちらかといえばそう思う	92
■ どちらかといえばそう思わない	16
■ 思わない	12
■ 無回答	1

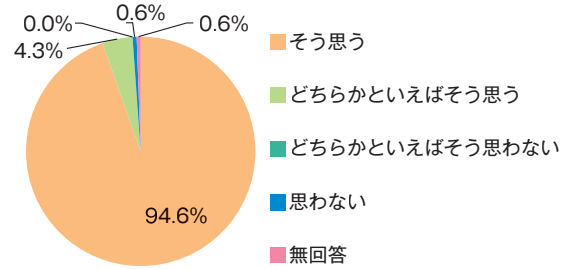


Q15 家族や身近な人が健康であってほしいと思う

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	323
■ どちらかといえばそう思う	24
■ どちらかといえばそう思わない	3
■ 思わない	3
■ 無回答	0

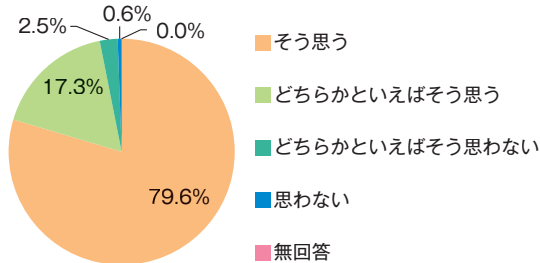


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	332
■ どちらかといえばそう思う	15
■ どちらかといえばそう思わない	0
■ 思わない	2
■ 無回答	2

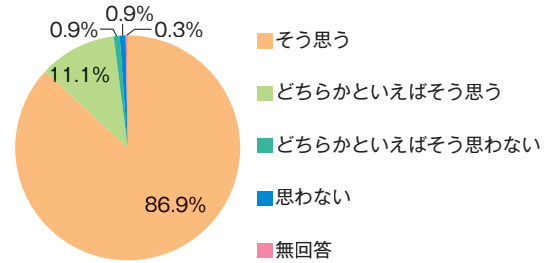


Q16 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	281
■ どちらかといえばそう思う	61
■ どちらかといえばそう思わない	9
■ 思わない	2
■ 無回答	0



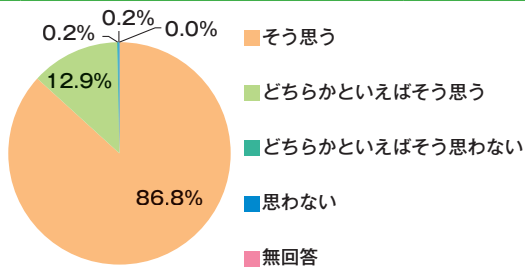
(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	305
■ どちらかといえばそう思う	39
■ どちらかといえばそう思わない	3
■ 思わない	3
■ 無回答	1



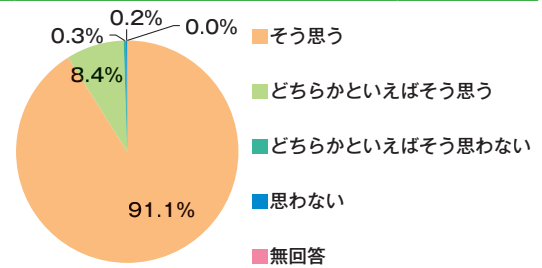
〔高等学校〕

Q1 がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	511
■ どちらかといえばそう思う	76
■ どちらかといえばそう思わない	1
■ 思わない	1
■ 無回答	0

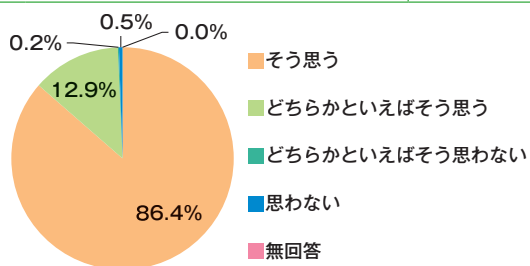


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	531
■ どちらかといえばそう思う	49
■ どちらかといえばそう思わない	2
■ 思わない	1
■ 無回答	0

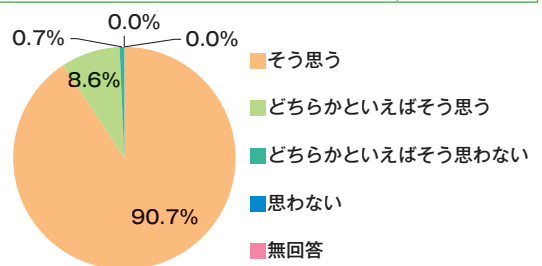


Q2 がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	509
■ どちらかといえばそう思う	76
■ どちらかといえばそう思わない	1
■ 思わない	3
■ 無回答	0

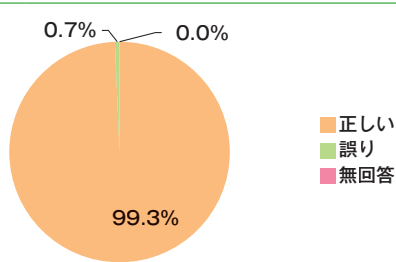


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	529
■ どちらかといえばそう思う	50
■ どちらかといえばそう思わない	4
■ 思わない	0
■ 無回答	0

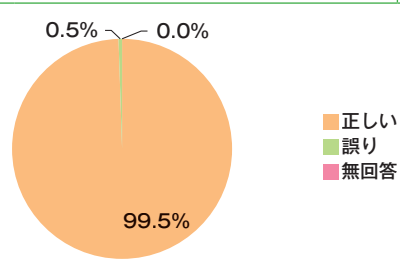


Q3 がんは誰もがかかる可能性のある病気である

(実施前)	(単位：人)
■ 正しい	585
■ 誤り	4
■ 無回答	0

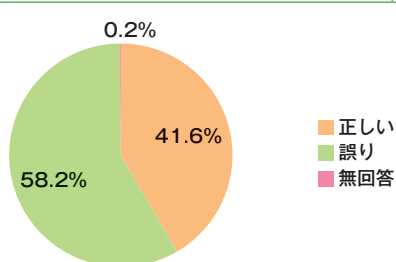


(実施後)	(単位：人)
■ 正しい	580
■ 誤り	3
■ 無回答	0

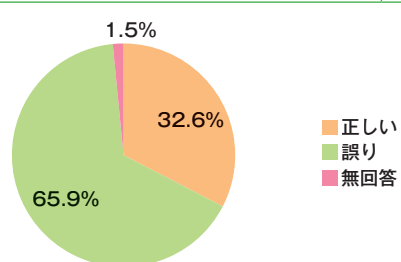


Q4 がんは日本人の死因の第2位である

(実施前)	(単位：人)
■ 正しい	245
■ 誤り	343
■ 無回答	1

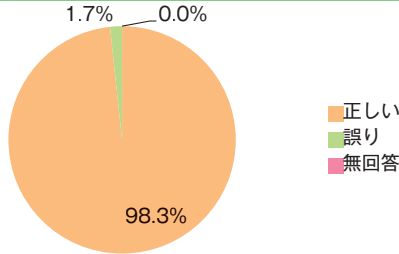


(実施後)	(単位：人)
■ 正しい	190
■ 誤り	384
■ 無回答	9

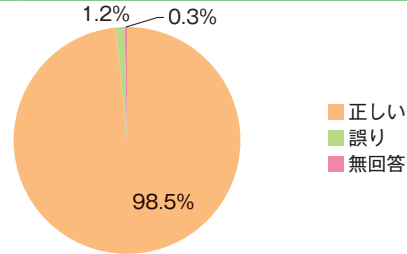


Q5 早期発見すれば、がんは治りやすい

(実施前)		(単位：人)
正しい	579	
誤り	10	
無回答	0	

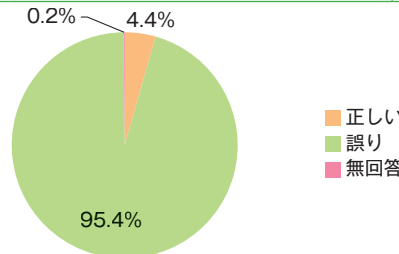


(実施後)		(単位：人)
正しい	574	
誤り	7	
無回答	2	

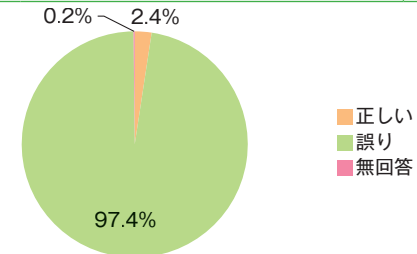


Q6 がんの治療法には手術治療しかない

(実施前)		(単位：人)
正しい	26	
誤り	562	
無回答	1	

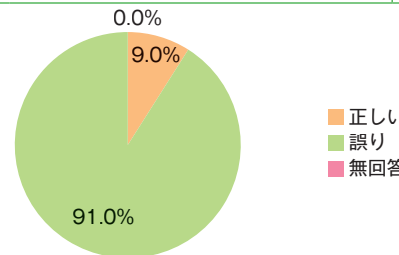


(実施後)		(単位：人)
正しい	14	
誤り	568	
無回答	1	

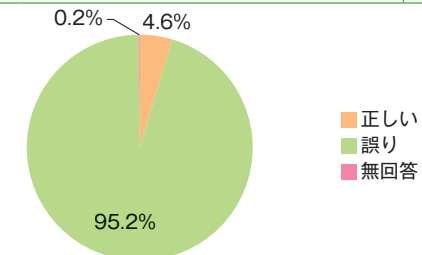


Q7 がんの痛みは我慢するしかない

(実施前)		(単位：人)
正しい	53	
誤り	536	
無回答	0	

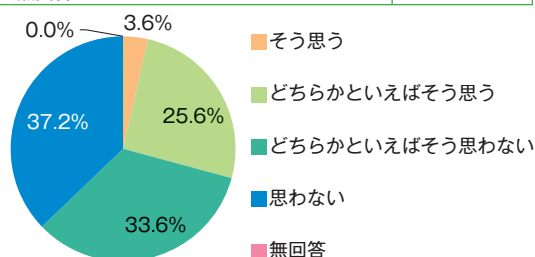


(実施後)		(単位：人)
正しい	27	
誤り	555	
無回答	1	

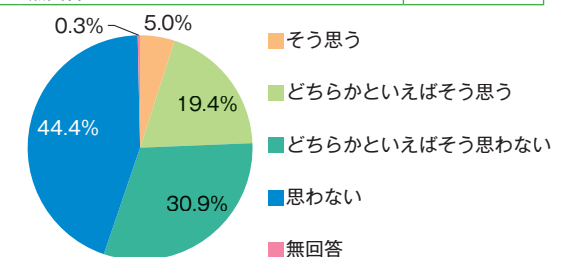


Q8 自分はがんにならないと思う

(実施前)		(単位：人)
そう思う	21	
どちらかといえばそう思う	151	
どちらかといえばそう思わない	198	
思わない	219	
無回答	0	

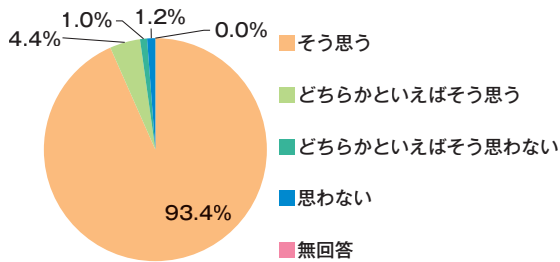


(実施後)		(単位：人)
そう思う	29	
どちらかといえばそう思う	113	
どちらかといえばそう思わない	180	
思わない	259	
無回答	2	

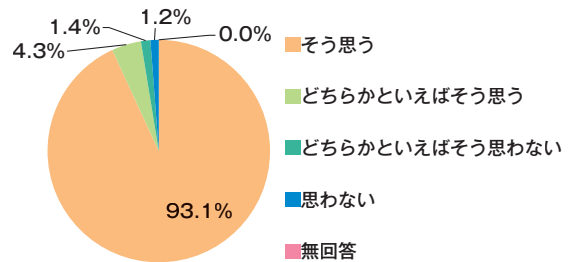


Q9 将来、たばこは吸わないでいようと思う

(実施前)	(単位：人)
そう思う	550
どちらかといえばそう思う	26
どちらかといえばそう思わない	6
思わない	7
無回答	0

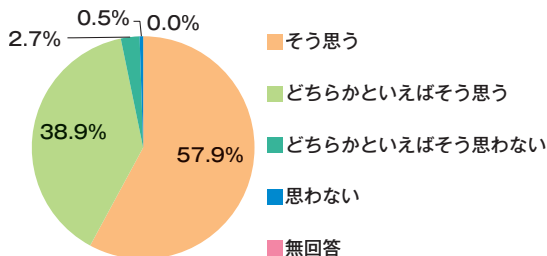


(実施後)	(単位：人)
そう思う	543
どちらかといえばそう思う	25
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	7
無回答	0

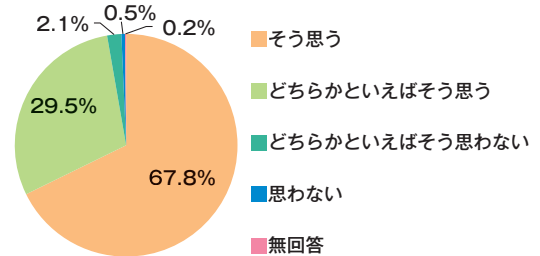


Q10 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う

(実施前)	(単位：人)
そう思う	341
どちらかといえばそう思う	229
どちらかといえばそう思わない	16
思わない	3
無回答	0

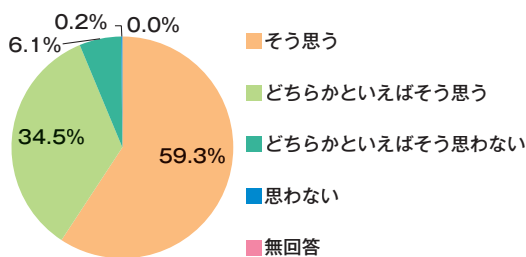


(実施後)	(単位：人)
そう思う	395
どちらかといえばそう思う	172
どちらかといえばそう思わない	12
思わない	3
無回答	1

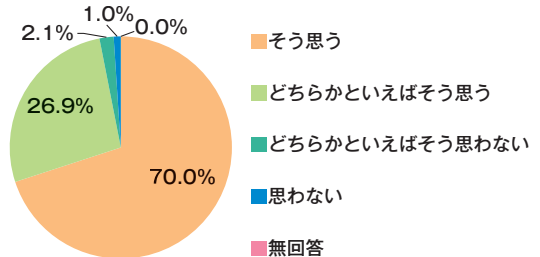


Q11 がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う

(実施前)	(単位：人)
そう思う	349
どちらかといえばそう思う	203
どちらかといえばそう思わない	36
思わない	1
無回答	0

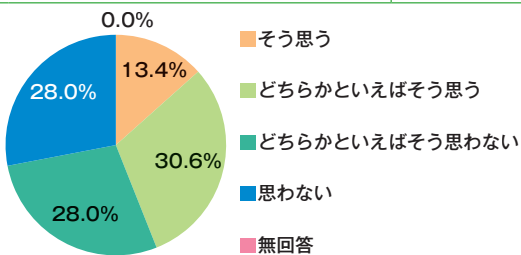


(実施後)	(単位：人)
そう思う	408
どちらかといえばそう思う	157
どちらかといえばそう思わない	12
思わない	6
無回答	0

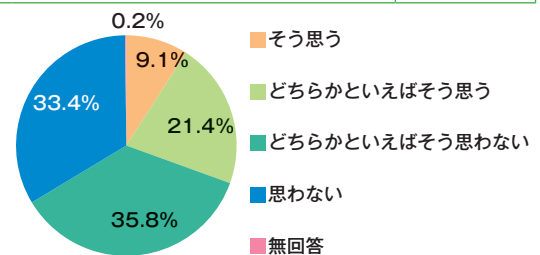


Q12 がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである

(実施前)	(単位：人)
そう思う	79
どちらかといえばそう思う	180
どちらかといえばそう思わない	165
思わない	165
無回答	0

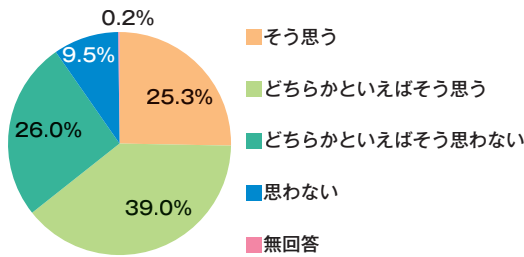


(実施後)	(単位：人)
そう思う	53
どちらかといえばそう思う	125
どちらかといえばそう思わない	209
思わない	195
無回答	1

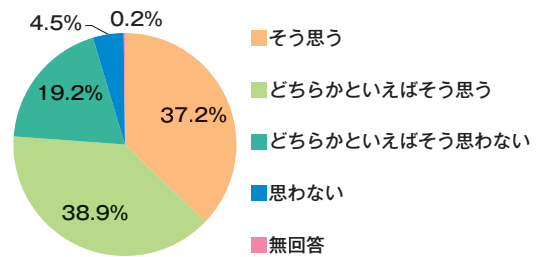


Q13 がんになっても生活の質を高めることができる

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	149
■ どちらかといえばそう思う	230
■ どちらかといえばそう思わない	153
■ 思わない	56
■ 無回答	1

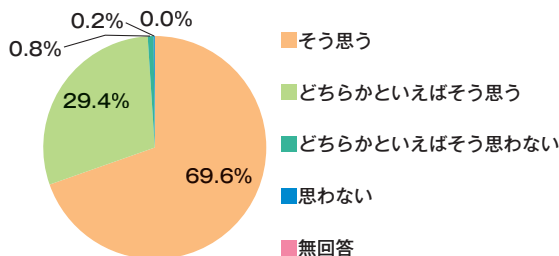


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	217
■ どちらかといえばそう思う	227
■ どちらかといえばそう思わない	112
■ 思わない	26
■ 無回答	1

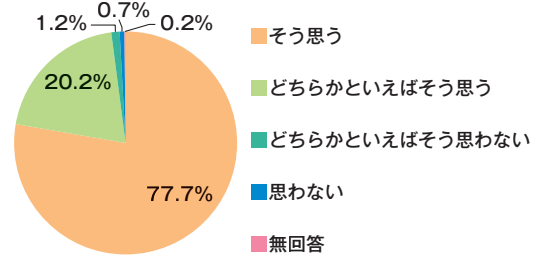


Q14 がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	410
■ どちらかといえばそう思う	173
■ どちらかといえばそう思わない	5
■ 思わない	1
■ 無回答	0

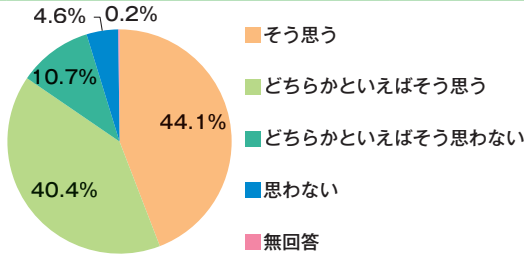


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	453
■ どちらかといえばそう思う	118
■ どちらかといえばそう思わない	7
■ 思わない	4
■ 無回答	1

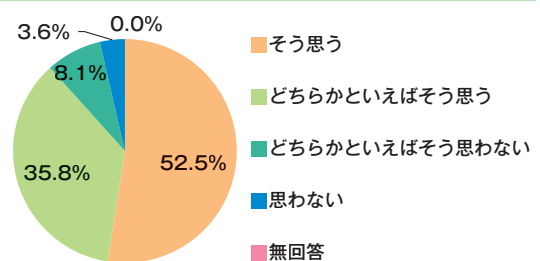


Q15 がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	260
■ どちらかといえばそう思う	238
■ どちらかといえばそう思わない	63
■ 思わない	27
■ 無回答	1

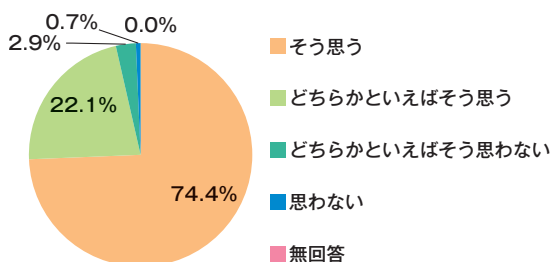


(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	306
■ どちらかといえばそう思う	209
■ どちらかといえばそう思わない	47
■ 思わない	21
■ 無回答	0

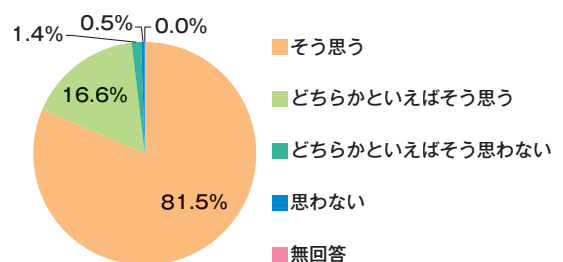


Q16 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う

(実施前)	(単位：人)
■ そう思う	438
■ どちらかといえばそう思う	130
■ どちらかといえばそう思わない	17
■ 思わない	4
■ 無回答	0



(実施後)	(単位：人)
■ そう思う	475
■ どちらかといえばそう思う	97
■ どちらかといえばそう思わない	8
■ 思わない	3
■ 無回答	0



IV 指導参考資料・教材

1 文部科学省 「がん教育推進のための教材」

HPアドレス https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369992.htm

2 がん教育推進のための教材 指導参考資料

HPアドレス http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm

〔小学校版〕

- ・映像教材 がん博士の「がんについての基礎知識」(6分35秒)
- ・映像教材 「がんと生きる」エピソード1：がん経験者男性(5分24秒)
- ・映像教材 「がんと生きる」エピソード2：がん経験者女性(5分03秒)
- ・ワークシート

〔中学校・高等学校版〕

- ・スライド教材モジュール1：がんという病気(15スライド)
- ・スライド教材モジュール2：日本のがんの現状(12スライド)
- ・スライド教材モジュール3：がんの発生と進行(16スライド)
- ・スライド教材モジュール4：がんの予防(13スライド)
- ・スライド教材モジュール5：検診の意味(12スライド)
- ・スライド教材モジュール6：がんの治療で大切なこと(11スライド)
- ・スライド教材モジュール7：がん治療の支援(14スライド)
- ・スライド教材モジュール8：がん患者のおもい(6スライド)
- ・スライド教材モジュール9：がん患者とともに生きる社会(13スライド)